

うみと、やまと、ひとと、ながと。長門市役所職員採用



努力した 「ひと」「まち」には 結果がついてくる

長門市長 江原 達也



長門市は、本州の最西端・山口県の西北部に位置し、日本海に面した農林水産業と観光業を主要産業とするまちです。また、全国的にも有名な童謡詩人「金子みすゞ」や洋画家「香月泰男」の生誕地でもあり、2020年3月に生まれ変わった長門湯本温泉や泉質では西の横綱と言われている俵山温泉をはじめ、風情も効能も異なる五つの温泉郷、変化に富んだ海岸線や棚田など、多くの文化遺産や自然を有しております。

長門市職員は、こうした多彩な表情を持つ長門市の政策に携わることができ、幅広い分野で「市民のいのちと生活を守る」ことに強い使命感とやりがいを持って働いています。

長門市役所には、あなたの力を十分に発揮できる魅力的な仕事がたくさんあります。今後も、激しく移り変わる時代の変化に対応し、スピード感をもって着実に前進していくためには、失敗を恐れずにどのような困難にも諦めず立ち向かっていく熱意とチャレンジ精神を持つ皆さんの新しい力が必要です。あなたも、私たちと一緒に新しい時代を歩んでいきませんか。



「市民のいのちと生活を守る」

市民の皆様に寄り添い、「住みたい」「住んで良かった」

「これからも住み続けたい」と心から思っていただけるまちの創出を目指します

切れ目のない
一貫した
子育て支援

観光地
ブランドの
深化

地域経済の
活性化

災害に強い
基盤の構築

誰もが「健幸」で
安心して暮らせる
まちづくり

「ひとが輝き、やさしさがこだまするまち長門」



<やさしさいくる> やさしさ+サイクル

長門市の「やさしさいくる」は、

「さんぎょう・こよう」「いじゅう・ていじゅう」

「しゅっさん・こそだて」「ひとづくり」の

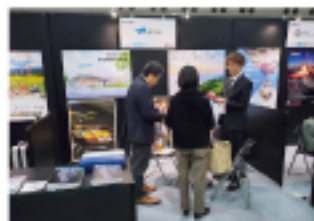
4つの施策が循環する形で構成されています。

本市は、「ひと」の「やさしさ」のつながりによる「健康」のもと、「若者の定着」と、それに伴う「産業の活性化」を中心に、「ひとが輝き、やさしさがこだまするまち長門」の実現に向けた取組を推進しています。

さんぎょう・こよう

第1次産業から第3次産業までの推進を図り、域内・域外資源(ヒト・モノ・カネ)の市内循環を目指しています。これにより、就業者の所得向上を図ることで地場産業の魅力向上や後継者等の確保につなげていきます。

また、地場産業の振興や地域のブランド化の取組により、地域の資産を活用した教育環境づくりと人材の育成を行っています。



企業誘致による 経済の活性化

ITベンチャー企業誘致戦略に基づく企業誘致活動の推進をしています。

また、サテライトオフィスのトライアル体験や開設・運営費用を支援しています。

いじゅう・ていじゅう

移住者の受け入れに向けた情報発信や支援を行う「移住」と、地域で活躍する人材を中心に、生活環境の向上を目指す「定住」による2つの主要な取組から形成しています。

これらにより、移住者の受け入れから定住・定着支援を推進し、本市で働いていく「ひと」の増加を図ります。



移住施策の 強化・推進

市内に点在する空き家活用に向けて、空き家所有者に対して様々な支援を行っています。

また、空き家案内ではVRシステムを活用した事業を展開しています。

しゅっさん・こそだて

少子化に歯止めをかけ、地域の未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、成長できるよう、親子の健康維持、子育て支援、教育環境の充実を目指しています。

また、多くの市民が子どもを授かる機会を持てるよう、出会いの場の創出、出産・子育てへの不安を解消するための相談支援体制の充実、経済的に自立できる雇用の確保、産前・産後ケアの充実を図っています。

さらに、市内の事業所に対し、ワーク・ライフ・バランスの周知徹底を図り、誰もが子育てしながら働ける長門市の実現に向けて取り組んでいます。



切れ目のない 一貫した子育て支援

子どもを育てる上で必要となる費用の支援を行っています。

小・中学校入学時には、お祝い金を支給しています。

ひとづくり

地域資源や地場産業を活かした教育を推進することで、地域に愛着を持った人材を育てています。

地域で育った人材が活躍していくことで、さらなる郷土教育の醸成と地域の生活環境やコミュニティ力を向上させるとともに、国際化に対応できる人材育成のための機会提供を進めています。

また、子どもたちをはじめとした市民のシビック・プライドの醸成を図り、郷土に愛着と誇りを持ち、ふるさとに住み続けたい、ふるさとで働きたいと考える市民の増加を目指しています。



「探求」型授業による キャリア教育

中学2年生を対象に能力開発プログラムを活用したキャリア教育を実施しています。

長門市役所

Nagato City Office

みんなの「安全・安心」の拠点として、利用しやすく親しみのある庁舎を基本理念として令和元年9月に供用開始されました。建築にあたっては、市内産の木材を積極的に活用しており、木造庁舎としては、国内最大規模の建物となります。



構造

【新庁舎棟】

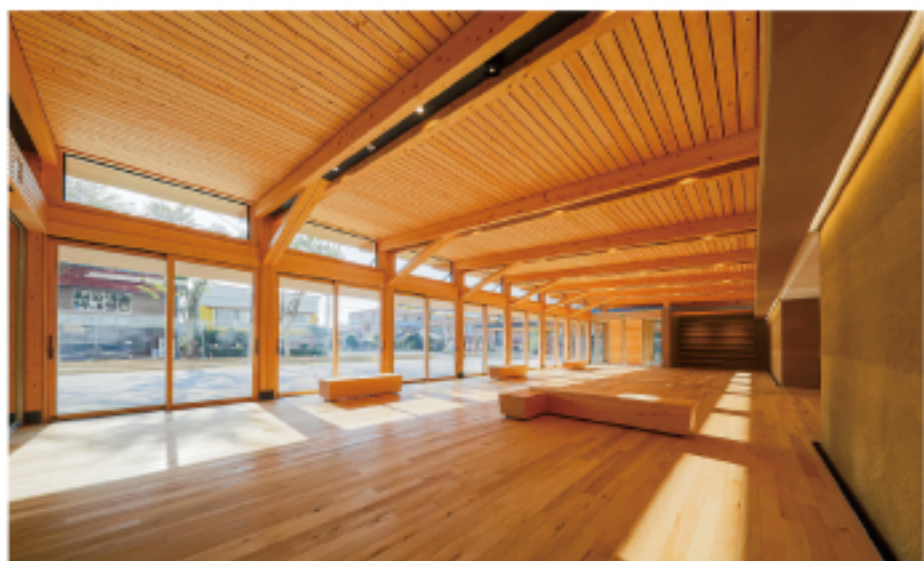
木造・鉄筋コンクリート造混構造

免震構造 地上5階建 (延床面積)6,788.25㎡

【エントランス棟】

木造・鉄筋コンクリート造混構造

耐震構造 平屋建 (延床面積)224.29㎡



長門市役所の組織

(令和6年4月1日現在)

市長事務部局

企画総務部

市の政策から財務・危機管理
まで行政運営をつかさどる仕事

企画政策課、防災危機管理課、総務課、財政課
監理管財課、税務課、デジタル戦略課

市の基本政策の立案、広報・広聴、統計、組織・職員、行政財産・普通財産の維持・管理、予算、税、危機管理、デジタル推進などに関する仕事



市民生活部

地域住民の生活を支える仕事

総合窓口課、生活環境課、市民活動推進課

住民登録、戸籍、健康保険、年金、環境衛生、廃棄物の処理、新エネルギー、自治会、市民相談、市民協働、人権啓発、消費生活の安定・向上などに関する仕事



健康福祉部

地域住民の健康や福祉を
サポートする仕事

地域福祉課、高齢福祉課
子育て支援課、健康増進課

高齢者福祉・障害者福祉・地域福祉の向上、生活保護、介護保険、子育て支援、保育園、健康の保持・増進などに関する仕事



経済産業部

地域の経済や産業の発展に
関わる仕事

産業政策課、農林水産課、企業誘致・まちづくり推進課

農業・林業・水産業・商業・工業・鉱業、ふるさと納税、交通対策、農地関係の調整、土地改良、漁港、企業立地・誘致などに関する仕事



観光スポーツ 文化部

観光やスポーツ・文化の
振興に関わる仕事

観光政策課、スポーツ文化交流課

観光の振興、観光施設の維持・管理、スポーツ・文化の振興、文化財の保護などに関する仕事



建設部

安全・安心な建築物・公共施設
を守る仕事

都市建設課、建築住宅課

道路、河川、橋梁、その他土木、都市計画、公園緑地、地籍、営繕、建築の指導、公営住宅、空家対策などに関する仕事



長門市役所の組織

会計管理者

会計課

市役所の会計・経理に関する仕事

市が事業をするために必要な現金の出納や管理、収入・支出の決算などに関する仕事



上下水道局

上下水道局

生活に欠かせない「水」を守る仕事

管理課、施設整備課

生活水の供給、下水の処理、上下水道施設の維持・管理などに関する仕事



消防事務局

消防本部・消防署

火災や救急・災害などに
対応し住民の命を守る仕事

長門市消防本部（総務課、予防課、警防課）
中央消防署、西消防署

火災予防、警戒、消火、救急、救助、災害の防除など消防防災活動に関する仕事



教育委員会

教育委員会 事務局

教育を通じて人を育む仕事

教育総務課、学校教育課、地域連携教育推進課

小・中学校の維持・管理、学校教育、社会教育などに関する仕事



配属・異動・昇任

- ・若手職員は概ね3年サイクルで部署を異動し、様々な業務を経験することができます。
- ・自身の能力を磨き適性を探し出しキャリアの形成につなげることができます。
- ・市長事務局以外の上下水道局や、教育委員会などにも異動があります。

[自己申告制度] (年に一度、全職員を対象に実施しています。)

希望する勤務部署、業務、研修や考慮してほしい事情(子育て、介護等)等を所属長等に伝えることができます。

多様な業務でキャリアアップ

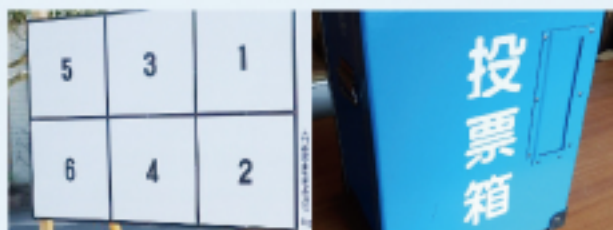


選挙管理委員会

選挙管理委員会 事務局

地域で行われる公平な
選挙に携わる仕事

市長・市議会議員・県知事・県議会議員・国会議員の選挙、
政治団体の届出などに関する仕事



監査委員

監査委員事務局

市政を様々な角度から
監査する仕事

市の財務事務等の監査に関する仕事



農業委員会

農業委員会 事務局

農地を守る仕事

農地の売買・貸借の許可、農地転用など農地利用に関する
相談の受付や支援に関する仕事



市議会

議会事務局

市議会の円滑な運営に
関わる仕事

市議会の円滑な運営に関する仕事



公務員のしごと

公務員の仕事は、国・都道府県・市町村と大きく分けて3つに区分されます。
それぞれの機関がそれぞれの管轄内で役割を果たします。

国（各省庁）のしごと

統一的に、全国的規模・視点で
実施すべき事務

(例) 外交、防衛、司法、通貨、金融、年金など

都道府県のしごと

広域的な自治体
(市町村が処理できない事務)

(例) 防災、警察、環境保全、児童福祉、
保健所、教育行政、県道、河川 など

市町村のしごと

基礎的な自治体
(住民に身近な行政全般の事務)

(例) 消防、住民票、上下水道、ごみ処理、生活
保護、小中学校 など

【長門市職員数】 ■男性 322名 ■女性 145名

令和6年3月1日時点

【事務職】 288名 【消防職】 66名 【土木技術職】 39名 【建築技術職】 5名 【保育士・幼稚園教諭】 40名

【保健師・看護師】 21名 【理学療法士・栄養士】 3名 【調理員】 3名 【司書・学芸員】 2名 【計】 467名

【新規採用職員】 ○平成31年度 8名 ○令和2年度 12名 ○令和3年度 29名 ○令和4年度 26名 ○令和5年度 18名

Azakami

Chie

阿座上 千恵

観光スポーツ文化部 観光政策課

令和4年入庁(市外出身)

それぞれの個性が
輝ける職場で

グローバルに地域と関わる仕事

私は、山口県と連携したインバウンドの仕事の中で、海外の方に山口県に来ていただいて、長門市の観光地等のアテンドをしています。

どういったコンテンツであれば海外の方に魅力を感じていただけるのか考えながら、各国現地の視察やモニターツアーの企画などに取り組んでいます。その時には、海外の方と直接関わって意見を頂戴しています。

私自身、海外での経験を生かして、自分の言葉で魅力を伝えることができるのは自分自身の強みだと感じています。

また、「やきとり」に関連した観光事業にも携わっています。「やきとり」にあまり関心が無い人に、どうすればその価値を伝えられるのか、日々、仕事に向き合いながら考えています。

自分の価値観に 新しい価値観を与えてくれるしごと

これまでの経緯

長門市役所に入る前は、民間の会社に所属し海外勤務をしていましたが、子育てというタイミングもあり、条件の合った長門市に住むことにしました。

職場選びに当たっては、私の持っている経験を生かし、住んでいる人の感情と外国の方の感情をより近いものになりたいと思い、長門市役所を希望しました。

海外とつながる長門市を

現在、長門市としては、東アジア、特に台湾への情報発信に力を入れているので、今は台湾の方との関りが多くなっています。

長門市には、元乃隅神社や長門湯本温泉等、県内でも有数の観光地があり、インバウンドツアーにおいては、海外の方に視察をしていただいて長門市の観光コンテンツを組み込んでいただけた時にやりがいを感じます。

長門市の観光客数や経済的な消費額等、数値的にも結果が求められる仕事ではあるので、それにつながる結果が伴ったなど実感したときはやってよかったと思います。

行政主導で形だけ整えるのではなく、仕事を通じて事業者同士のつながりや、海外との交流がより活発になって観光客がお互いに増えていく状況になるのが、長期的な関係構築につながっていくと思います。

観光だけではなく民間レベルでの交流が活発になれるように私も何かできるようなと考えています。

やきとりのまち

長門市のやきとり文化は、長門市のブランドとして認知度が高まってきていると思います。観光コンテンツとして、人に伝わりやすい形で、ちゃんと伝えられる人になっていきたいと考えています。

長門市には、全国の名だたるやきとりのまちと肩を並べるほどの店や、それ以上においしいやきとりを提供している店が多くあります。

まずは食べていただいて魅力を知っていただきたいです。

長門市の暮らし

長門市は、住んでいる皆さんが本当にいい人ばかりだと思います。これまで、どこに行っても嫌な思いをしたことがありません。職場の人にも本当に恵まれています。

また、やきとりに使用される鶏肉もそうですが、長門市の食材は新鮮なものが多く、たくさんの人に素敵な長門の「食」と「自然」を楽しんで欲しいと思います。

Interview Video

阿座上 千恵 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



Sakamoto Shohei

坂本 翔平

経済産業部 産業政策課

令和3年入庁(市外出身)

みんながいきいきと
働けるような街にしたい

地域のしごとを創り出す仕事

私は、産業政策課で創業支援や雇用に関わる仕事をしています。市内で創業を目指す方が、少しでも不安なく挑戦できるよう、商工団体や金融機関等と連絡をとりながら、伴走支援型のサポートを行っています。ご支援させていただいた方が起業された時はやりがいを感じます。

長門市では、進学や就職で高校の卒業生が市外に出ていくことが多いですが、一旦市外に出た人が長門市に帰ってきて働きたいと思えるまちづくりに貢献したいと思っています。

一度しかない人生の中で、 違うことをするのは今しかない

これまでの経緯

私は、山口市の出身ですが、大学で県外に出たのちに、地元の金融機関に入行しました。

前職では13年間働いていましたが、ある時の転勤赴任で長門市とご縁があり、長門市で5年間働くことになりました。

その時に地元の経営者の方だったり地域の方、行政の関係者の方等、多くの方と出会うことができました。当時、元乃隅神社に注目が集まり、長門湯本温泉の再開発事業など多くの変化があった時期で、改めて長門市の魅力やポテンシャルの高さに気づきました。

その中で、地域の役に立つ仕事が出来ればと考え、志望しました。

社会人採用で働く

ちょうど長門市役所の試験を受けたときが34歳の時で、子供もいて転職するタイミングとしては、人生の重要な時期だったかなと思います。

一度しかない人生の中で、違うことをするのは今しかないという思いもあって、市役所の試験を受けました。

市役所では、人事異動で様々な部署を経験し、転職に近いような仕事内容の変化もたくさんあると思います。一方で、色々なことを学びながらキャリアアップが図れる環境は、市役所という職場の魅力だと思います。

市役所という職場

色々な事業を考える時も職歴や在籍年数に関係なく、上司の方も話を聞いていただけますし、変えたほうがいいと思うものはどんどん進言するようにしています。実際に変わることも多いと思います。

入庁した時に民間出身という不安もありましたが、長門市役所は民間出身で活躍されている方も多く、民間出身者を受け入れてくださる温かな方も多く多くので、仕事やし易い職場だと感じています。市役所には様々な業務がありますが、その業務も市民の生活や仕事に密接に関わるものです。本市の職員数は多くありませんが、だからこそ一人一人が与える仕事の影響が大きく、やりがいを持つことができます。



Interview Video

坂本 翔平 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



Takami Yuuhi

高見 雄飛

健康福祉部 地域福祉課

平成29年入庁(長門市出身)

地域の為に
一つになって



地域の困りごとを解決する仕事

私は、地域福祉課で長門市に住んでいる方の課題の解決に取り組んでいます。

今の業務では、地域に暮らす人の支援をされている民生委員さんに関わる仕事をしています。その中では、地域で困っている方の相談を受け付けますが、その問題を解決できたときには、自分もちょっとは地域の為に役立つことができたと感じることが出来ます。

私も長門市をより良くしたいという思いで市役所に入りましたが、職場には同じような思いの方も多いです。そういった方々と力を合わせて、より良い長門市をつくっていきたいと思います。

仕事では、色々大変なことはありますが、自分が成長する過程においてはいい経験をさせていただいています。幅広い色々な経験のお陰で、日々成長できていると実感しています。

挑戦と成長につながるしごと

就職への思い

学生時代に就職先を考えた時自分の中に地元の長門市で働きたいという思いが一番強くありました。小さいころからお世話になった地域の為に働きたいという思いがあったのだと思います。それを実現できるのが市役所だと考え現職を志望しました。

私には、ランニングという趣味があります。昔、私の父も地元で走っていました。父の駅伝を小さなころから見に行っていました。長門市の代表として走っている姿を見ているときに自分も父のように、長門市の代表として走りたいという思いを抱くようになりました。そういったところも地元長門市への愛着に繋がったのかなと思います。

仕事以外での挑戦

私は、仕事以外にも駅伝やマラソンに挑戦しています。

実際に働きながら走るというのは大変な面も多いのですが、働きながらもこれだけ走れるんだということ自分を中で、まだまだ示していきたいという思いがあります。競技の中では、市役所で働いているからこそ、より地域の人からも声をかけられますし、応援していただいているので、力になっているのかなと思います。たまたまマラソン大会で優勝することができた時、その際もいろんな人が温かな声をかけてくださいました。そういうところが長門市の魅力だと感じます。

また、長門市は、市内で走ることが好きな人が多いので、一緒に練習することもできますし、練習ができる環境も整っているのかなと思います。

常に今の自分より成長するということを信じながら競技も仕事も続けていきたいと思っています。

将来は走るための組織とかチームみたいなものを作りたいなという思いもあります。より走ったり駅伝に興味がある人たちが増えていくって自分のように働きながらも競技をする人が増えてくれるとうれしいと思います。

より良い地域を目指して

地域を良くしていくには、市役所の人だけが頑張ったりとか、地域の人だけが頑張ったりということではだめだと思っています。みんなで一緒になって連携して、一緒にタッグを組んで地域の為に一つになってやっていくことが大事だと思っています。

Interview Video

高見 雄飛 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



Fukada Rika

深田 莉加

健康福祉部 健康増進課

令和3年入庁(長門市出身)

地域住民の健康を守りたい



地域の健康を支える仕事

私は、保健師として地域に住む皆さんの健康に関わる業務に従事しています。

相談会など、地域の方々と触れ合う機会も多いので、毎日楽しく仕事をしています。私の仕事は、すぐに結果を出すのは難しいですが、生活習慣の改善のお手伝いをした際に「頑張ってみます」や「ウォーキングしてみます」等の言葉を頂くととてもうれしく思います。

今は、母子保健を担当していて、妊婦さんから就学前のお子さんまでの支援に携わっていますが、母子訪問でお会いした赤ちゃんが成長していく姿を見て、お母さんと一緒に喜べるということにやりがいを感じています。

幅広い年代の生活に 寄り添った支援ができること

これまでの経緯

もともと高校時代の部活でラグビー部のマネージャーという経験をさせていただいて、人のサポートをするということに興味があったと思います。

私が保健師になろうと思ったのは、大学時代に病院での実習を経験した時に患者さんから「住み慣れた自宅に帰りたい」という言葉を聞いた時に、病気になる前の予防の段階で関わることができればと保健師を選びました。

就職に当たっては、生まれ育った長門市で、地域で暮らしている皆さんが住み慣れたまちで長く生活できるようにサポートしたいと思い長門市役所を選択しました。

いつまでも健康であるために

現在、検診結果の説明会等に従事しています。このような場に来られる方は、健康に対する意欲があるのですが、あまり健康に関心が無い方もいらっしゃいます。これからは、いつまでも健康に暮らしていただけるように、健康に対して無関心層の方にもアプローチできる仕組みを作れたらいいと思います。

日頃は、地域の方への伝え方や地域の方がこれだったらできるんじゃないかという選択肢を増やそうと思って自己学習を頑張っています。

業務の中では、私がした助言に対して「これだったら取り組めそう」等、前向きな言葉をもらえることがとても嬉しいです。

保健師は様々な人との関りを通じて人間的にも成長できる職業だと思います。

職場環境

買い物する場所が少ないなど不便なことはありますが、私は、海が好きなので長門市の海には日々癒されています。海岸を散歩したり、夏はSUPをしたりしています。

職場では、不安や悩みもありますが、上司や同僚の方に親身に相談にのっていただき解決策を見出したりしていますので、温かく働きやすい職場だと思います。

長門市は高齢化率が40%を超えており、今後も少子高齢化が進むことが考えられますが、会話が飛び交い、隣人との交流や支え合いの精神に溢れる「地域の繋がり」は長門市の強みだと思います。この強みを生かし、高齢者が住みやすく、子どもを産み育てやすい地域づくりに保健師として貢献できたらと思います。



Interview Video

深田 莉加 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



Hiraoka Takeshi

平岡 武

上下水道局 施設整備課

平成30年入庁(長門市出身)

ここに暮らす人、
ここで働く人、
ここを訪れる人を
技術で支えています



地域の生活を支える仕事

私は、上下水道に関連した現場で、実際に測量をしたり、図面を書いたりしています。その上で、作った図面や数量をもとに工事を発注するための積算をしたりしています。

僕が担当している上下水道というのは、地上で見えないところで働いているものとなります。水道や下水道・道路などはあって当たり前なところがあります。しかし、ライフラインとして欠かせないものでもあり、大切な仕事として、長門市で暮らしている人を技術で支えるというところは、やりがいや喜びを感じる場所です。

この仕事は、本当に重責のある仕事だなと感じています。一方で、困ったときに助けになれるのは、市役所職員だからこそというのがあると思います。住んでいる皆さんの生活を守る仕事として、日頃から使命感を持って働くようにしています。

自分の思いや発想を 自由に言っても提案が通る 自分の思いが具現化できる そういう職場

働くきっかけ

長門市役所に入る前は、県内の民間会社で働いていましたが、地元長門市で働けないかと思いはじめました。そして次の仕事を探すときに、これまで民間で培ってきた技術や経験を生かして地元で貢献できないかと親の勧めで長門市役所を選びました。

長門市は、自分が好きな場所であり、ここで育ってきたので、育つ過程で見ていた景色、色々と経験してきたことなど、そこに自分が関わっていききたいというのが大きいと思います。

新鮮で面白い

入庁するまでは、仕事の内容を理解していませんでした。漠然と公務員ということで、「安定」や「仕事しやすい」「転勤もない」「長門市の中で仕事ができる」といった思いで入りました。

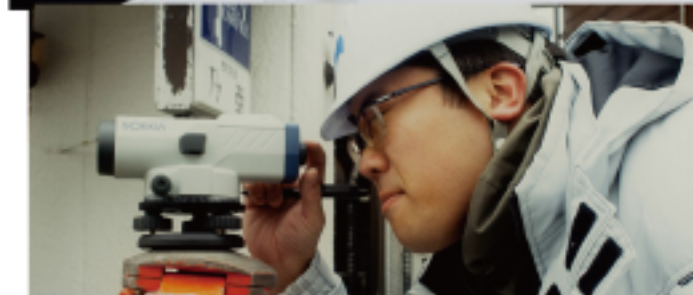
実際に働いてみて長門市で仕事することが面白くなってきました。自分の知っている場所で自分のした仕事が形になったり、誰かのためになることに、すごくやりがいを感じています。

市役所には、観光もあったり、教育もあったり、産業もあったりと様々な分野の方と仕事することがあります。そういう方たちと触れ合い、人脈が広がるというのが新鮮で新鮮で面白いと思います。そして、それぞれの分野にも自分の仕事が活かせることが面白いと感じています。

日々が学びの場

今の担当業務の分野は、奥が深いので、1年や2年ですぐに理解できる内容ではないと思っています。1年1年自分でしっかり勉強しています。

自分で研修に参加したり、自ら資格試験を受けて勉強するように心掛けています。平日仕事が終わって帰って勉強したり、図書館に行って勉強したりしていますが、自分の知識が増えるということが面白いです。



Interview Video

平岡 武 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



Oota Minako

大田 美菜子

三隅保育園

平成21年入庁(長門市出身)

子供の頃からの夢を実現



小さなころから憧れの仕事

私は、年長組の担任をしていますが、発表会や運動会といった、大きな行事のときに練習を重ねる中で、子どもたちの成長が見られると、一番やりがいを感じます。

一人ひとり個性があるので、一人ひとりにあった関り方を考え、のびのび自分を表現できる自信のある子どもになってほしいと思います。

この仕事は、体力のいる仕事だとは思いますが、「鬼ごっこしよ」となったら次の日は体が痛くなったりすることもあります。でも、子どもたちが笑顔で保育園に来てほしいので、子どもたちの思いに寄り添った保育をしたいと思っています。子どもと直接触れあって遊んだりするときが一番楽しいです。

子どもの思いに寄り添うこと

小さいころの出会いがきっかけ

小さいころに通っていた保育園の先生がとても優しく、その先生にあこがれていました。

私が年中組の時に怪我をして、その先生と一緒に病院に通ってくれました。近くの病院でしたが、一緒に病院に行く時間が楽しくて当時の先生がさらに好きになりました。

また、幼少期に住んでいた場所に、私よりも小さい子どもがたくさんいたので、その子どもたちと遊んでいる中で、保育士になりたいという気持ちも芽生えたのだと思います。

小さいころに保育士になりたいと思ってから、他の職業には就職したいとは思いませんでした。

昔から、地光である長門市に帰りたいという思いもありましたし、長門市は自然も豊かで人も優しいので、その中で保育士になりたいと思いました。

保育園でのしごと

私が幼少期に感じたようにいつでも話せる、自分の思いを伝えられる、というのはやはり保育園の先生から出る雰囲気とかが大切なんじゃないかなと思います。そのためにも、できるだけ笑顔は絶やさないようにしていますし、子どもたちのちょっとした表情を気にかけて、話しかけたりしています。

保育園には、同世代の先生もおられるので、悩みとか困った時などは気軽に相談できます。

保育士は大変なイメージはありますが、その分やりがいがありますし、長門市は環境がとにかくいいと思います。人が温かいですし、働くうえで、子どもを育てる環境としても素敵なので、長門市で働く保育士が更に増えるといいなと思います。

長門市での暮らし

私は田舎向きなので、ゆったり時間が過ぎるのが自分に合っていると思います。今は静かな場所に住んでいるので、よく家でバーベキューをしています。真冬でもしています。夏は友達と仕事終わりに海に泳ぎに行ったりもしていました。

また、私は、音楽ライブに行くのが好きなので、体を動かすことが好きなので、たまにフットサルとかもしています。

この仕事は、土日休みだけでなく、平日休みもあるので、美容院とかに行くときは、行きやすいなと思います。

Interview Video

大田 美菜子 先輩の
フルインタビュー動画は
こちらから



杉山 健一



経済産業省 クールジャパン政策課 (出向)

事務職

変化を楽しむ

仕事の中では、比較的簡便で作業量の少ない資料作成や文章作成などでも、一人で最初から最後までを抱えずに、チームで常に状況をシェアしながら進めています。コミュニケーションが円滑に行えた結果、質的にも量的にも求められている以上の成果が発揮できた際に、個人としてもチームとしてもやりがいを感じる事ができます。

「みんながって、みんないい」の土地に根づくフィロソフィーのもと、しなやかに自分自身の考えや物事の捉え方・視点を常に変化させながら、「働く」を楽しめる最高の職場が長門市役所だと思っています。



現在、経済産業省のクールジャパン政策課という部署に出向中です。出向先では、日本の魅力で海外の需要を開拓し、その利益を国内に還元させることを目指して業務に取り組んでいます。



松尾 隆志



建設部 建築住宅課

建築技術職

長門市専属の一級建築士

今の職場では、色々な方と関わって、1つの建物を作り上げていくことに大きな魅力を感じています。大きな事業では、建物の計画・設計、工事、供用開始するまでにとても長い年月を要します。紙の上で計画を練り、予算書・計画図や設計図面を作成し、最後は現場で建物が建っていく様子を見るのは嬉しい瞬間です。

市役所は、多様な職種公務員だからこそ、自分を信じて動き考え続けることができる職場環境だと思います。色々な知識や経験を積み上げていき、建築を通して長門市の将来のまちづくりを担っていかれたらと思います。



現在、新築公共施設の計画を進めています。その他、市内公共施設の改修・修繕・計画の営繕業務、建築基準法等に関する各種行政サービスも行っています。安全に安心して住めるまちづくりの根幹を支え、建築士の立場で各課と連携しています。



岡本 恵子



上下水道局 管理課

土木技術職

水を通じて生活を守る

長門市では、官民間問わず様々な事業が展開されますが、多くの事業では上下水道施設が関わります。それぞれの事業に携わる中で、上下水道施設の視点から事業を見ることができているのが現在の職場の魅力だと思います。

上下水道施設は住民の方にとって生活に直結するがゆえに、その施設を管理している私たちの業務の責任はとても重いものと思っています。

一緒に働く長門市の土木技師の先輩方はもちろん、他の職員の方はみんな優秀で頼りになるいい人ばかりだと思います。事業数が多い部署では、その分工事に携わる機会が多く、勉強になりやりがいを感じられると思います。



申請書の審査、道路占用の手続きなどの事務仕事や上下水道管の埋設確認などの窓口対応をしながら、検査や現地立会等の現場に出ています。水が出ている・下水が流れないなど連絡があれば確認のため現場に向かいます。



阿部 美咲



健康福祉部 健康増進課

市民の健康を支える

保健師は、検診の結果説明会や、健康相談などで、市民の方から相談を受けることが多いです。相談を受けたら、まず相談者の生活状況を詳しく聞き取って、相談者にあった、健康づくりを提案します。そして、市民の方が実際に健康づくりに取り組んでおられた時に役に立てたと思えて、うれしくなります。

市役所は事務作業ばかりで堅苦しいと思われがちですが、市民の方との関りを通して、楽しく、心温まる瞬間もあります。

事務作業が得意な方も、人と関わることが好きな方も、どんな人でも必ず合う仕事が見つかるのが市役所だと思います。

保健師職



保健師は、市民の方の健康の保持・増進に努める仕事です。市内で健康教室を行ったり、赤ちゃんを出生されたご家庭へ訪問したりしています。保健師の働きかけで生活習慣が改善されることもあり、逆に市民の方からいろいろ教わることも多いです。



岡田 真侑



三隅保育園

日々成長

私の出身は市外ですが、長門市には小さなころから遊びに来ており、親しみを持っていました。

仕事の中では、子どもたちも、私も初めてのことが多く大変なこともあります。先輩方にも教えてもらいながら日々過ごしています。

子どもたちとの関りの中では、これまでできなかったことができるようになり、子どもの成長を感じた時にやりがいを感じます。

子どもたちと一緒に過ごしていると、子どもたちから教えてもらうこともたくさんあります。子どもたちと一緒に日々成長できることが保育士の魅力だと思います。

保育士職



現在は2歳児の担任をしています。登園した子どもの家庭での様子などを保護者の方から聞いたり、おやつや配膳・掃除、その日の遊び等、子どもたちの笑顔が生まれるよう取り組んでいます。子どもたちが帰った後は、事務作業や壁面作成などを土にしています。



上田 一誠



中央消防署

有言実行

現在は、消防隊と救急隊として働いています。現場でミスが出ないように基礎訓練や応用訓練を反復し、知識や技術の向上に努めています。

スムーズな現場活動を行うためには、1人1人が高い意識と共通認識を持つことが大切で、若い職員であっても考えながら行動しなければなりません。自分で判断をしなければならぬ難しさはありますが、そこがこの仕事の魅力だと感じています。

患者さんやご家族から「ありがとう」という言葉をいただいた時には「これからも頑張ろう」という気持ちになります。

消防職



朝、勤務交代を行い、消防車や無線、空気呼吸器などに異状がないかを点検します。その後、事務処理や受付、通信指令室など、それぞれに任された仕事を行います。午後からは、火災や救急現場を想定した訓練などが行われます。夜は各自の仕事や自主訓練などをします。





建設部 都市建設課

渡邊 恵梨香

妊婦健診の際は、
健診を受けるための
休暇制度も整っているので、
助かります

私の家族は、夫婦それぞれが協力して、育児と家事に取り組むようにしています。一人が家事をする間にもう一人が育児をするなどし、一人に負担がかからないようにしています。また、仕事においては、急な呼び出しにも対応できるよう、夫と予定を共有し、先の予定を立てながら早め早めに取り掛かるようにしています。子育てでは、育児時短勤務や看護休暇などの制度を活用することで両立をすることができています。

育児休業中は、初めての育児で大変なことも多かったですが、育児休業によって、しっかり育児に向き合えるので、貴重な時間であったと感じます。1年4か月ほど育児休業を取得し、その間に育児のペースも掴め、職場復帰をすることができました。最長3年間育児休業が取得できるため、体調等も考慮して無理なく復帰できる制度が整っていると思います。

長門市役所は制度が整っているのも、仕事と家庭の両立がしやすい職場だと思います。また、自分で仕事の調整を図ることができる部署が多いので、子どもの急病等の際には休みを取得しやすいです。子育て中の方も多く、子育てに関するアドバイスを貰えたり、さまざまな相談に乗ってもらえたりと、働くママ・パパにとって働きやすい環境だと思います。



企画総務部 企画政策課

石田 雄一

先輩が「どんどん取れ、
心配せんでも
仕事はなんとかなる」
と背中を押してくれた

育休中は家庭にしっかりコミットしていましたが、職場に戻ってからは徐々にまた仕事のウエイトが大きくなってしまっていて、今はうまく両立できていないかもしれません。

しかしながら、休日の子どもの発表・体験の場等にはできるだけ家族みんなで行くことや、必要に応じて子どもが一生懸命取り組んでいることに私自身もボランティアとして携わらせていただいているので、独身だった頃と比べると圧倒的に休日に職場に行くことも減りました。

育休を取得して家族への愛情はもとより、妻への感謝の気持ちと愛情も深まりました。

小学生の娘たちが目覚める前に朝食の支度をやる1日のスタートから、洗濯・部屋の片付け・買い物・習い事への送迎・お風呂・就寝まで。育休を通じて、タフな日常を妻が変わらず支えてくれたことに尊敬と感謝の思いが溢れました。特に妻が出産後入院した1週間は家族が力を合わせる良い機会にもなりましたし、生まれたての子どもを囲み家族の時間をしっかり取れたおかげで、家族の絆が更により強くなりました。

今の職場は、子どもの看護休暇なども浸透しており、育児に伴い突発的に休まなければいけない事態にも柔軟にフォローしていただいています。





建設部 都市建設課

池岡 誠太

男性の育休取得にも
理解のある方が多い職場

正直両立できているとは思いませんが、仕事を定時で切り上げて、すぐに家に帰ることが大切だと思います。私の周りには気に掛けてくれる方が多く、比較的定時後すぐに帰宅できました。それができないときは、週末なるべく育児100%で動くことを目指しています。

帰宅時間は職場や時期によっても左右されるので、働きながらも家庭に力を注ぐ意識だけは忘れないようにしています。できるときに頑張るスタイルで生活しています。

育休中に一番良かったのは、育児を経験できたこと。短い期間でしたが、一日通して子どもに向き合うことがどれだけ大変かを学びました。生まれてすぐは大変すぎて記憶が曖昧ですが、一年経った今でも妻と当時苦労した話をすることがあります。

実際に育児を経験できたことで、より家族を第一に考えられるようになりました。また、最近では育休期間に苦労した分、子供の可愛さを強く感じる事ができている気がしています。育休取得に際しては、復帰後の勤務形態や制度の詳細説明等、手厚く相談頂きました。一連の相談体制が磐石な所が、長門市役所の強みの一つだと思います。



菱海保育園

大谷 奈々美

育休中に学んだこと、
感じたことを
生かしていきたい

職場では出産後は育児休業を取るのが当たり前という雰囲気、職場の先輩の中には「育休中は子どもとしっかり関わることができるから、長めにとった方が良くないじゃない?」とおっしゃる方もいらっしゃいました。子どもの保育園の入園のこともあるので、1歳になるまで育休を取りました。

育児休業中には、子どもの成長を見ることや子どもにしっかり関わることができたので良かったです。育児と保育は違いますが、共通することも多くあるので今後仕事をする中で育休中に学んだこと、感じたことを生かしていきたいと思います。

育児休業取得前は、まだICT化が進んでいなかったため、復帰してから月報や週報などの書類の作成をパソコン端末で入力するようになっており、当初は苦労しました。また、産休や育休の間に書類の形式が変わっていたこともあり、慣れるまでに時間がかかってしまうこともありました。現在は様々な業務でICT化が進み以前より負担が軽減され、仕事をしながら子育てをする私としてはとても助かっています。また、長門市役所は、産休や育休などの制度がしっかりあり、働きやすい職場だと思っています。



行政職員として働くこと 管理職からのメッセージ

Q 今の仕事の内容

地域福祉課には3つの班(地域福祉班・障害者支援班・保護班)があり、その統括が主な仕事になります。具体的には、生活困窮や生活保護、障害者支援、民生委員・児童委員に関することが主な業務になります。生きづらさを抱えている人を支えていくことがこの課の役割であり、それが「地域福祉」だと考えています。

Q 日頃の仕事との向き合い方

仕事をするうえで大切なのはコミュニケーションだと思っています。業務量が多く悩んだり、自分では手に負えないものを抱え込んだりする場合もあるかと思いますが、「助けて欲しい」この声を上げることができれば、たいいていことは何とかなります。仲間とそんな関係が築けるよう努めています。

Q 次世代の仲間へのメッセージ

眩しいくらいにキラキラして仕事をしている若手職員を見ると嬉しくなります。自分にもそんな時代があったのか... 吉すぎて思い出すこともできませんが、その輝きをずっと持ち続けていただきたいと思います。仕事は個人ではできません。仲間とコミュニケーションを取り、お互いに助け合い、そして成長して欲しいと思います。



健康福祉部 地域福祉課長

古林 順子

平成6年 旧油谷町役場に入庁し、平成17年の1市3町の合併により長門市役所勤務となりました。

企画振興課(当時)や市内支所、総合窓口課、観光政策課等を経て、現在は、地域福祉課で、地域住民の生活に寄り添う仕事をしています。



企画総務部 企画政策課長

村上 公章

Q 今の仕事の内容

現在は企画政策課の課長として、長門市の最上位計画である長門市総合計画の進捗管理や移住定住などの人口減少対策、地域おこし協力隊業務、広報紙の発行や長門市の魅力を市内外に発信するシティプロモーション業務などのマネジメントを行っています。

Q 日頃の仕事との向き合い方

管理職ですがプレイヤー気質なので、自分で何かを企画して実行することが好きです。小さなことでも何かを企画立案して実行し、それが形になることで得られる成功体験と、自分たちが暮らすまちに自分が貢献できたという満足感が、仕事だけでなく日常のモチベーションとなっています。

Q 次世代の仲間へのメッセージ

私が大切にしている言葉は、
“Think different(発想を変えてみる)”
“It's my ball(それは自分がやる<積極性>)”
“Just do it(とにかくやってみる)” です。
人口3万人の小規模な自治体であるからこそ、色んなことに挑戦できたり、アイデアが形になりやすかったりするので、自らエネルギーを生み出して地域の熱量を高めてほしいです。

平成7年入庁。観光政策課、総合窓口課、企画政策課等に勤務。なかでも企画政策課勤務が通算13年と長く、特に広報担当として7年間勤務し、日露首脳会談やラグビーW杯、長門湯本温泉観光まちづくりなど、他の自治体では得がたい広報の仕事を経験することができました。

長門市職員の仕事

長門市の未来をデザインする仕事

地域住民の様々な生活に寄り添い行政のプロとして未来に挑戦する
一人ひとりが能力を最大限に発揮し信頼される行政サービスを提供する

長門市職員の仕事は、あまり目立たないかもしれませんが、市民の生命・財産・安全安心などを守るため、
いろいろなルールを作るなどクリエイティブでチャレンジングな仕事です。

市民のために仕事をする

住民の意識向上に寄与したいという志を持ち、市民と共にまちづくりを進める職員

専門性と高い倫理観をもつ

専門的な知識を持ち、市民に公平・公正・誠実に対応し尊敬される職員

自ら考え、行動する

仕事への情熱と柔軟な思考力を持ち、常に問題意識を持って事業を改善する職員

マネジメント能力をつける

高いコスト意識を持ち、効率的に職務を遂行できる経営感覚をもつ職員

勤務条件

給与 長門市役所では、給与に関する条例により、給料及び諸手当の金額が定められています。
勤務成績に応じて年1回(7月)の昇給があります。

長門市職員の平均給与月額 (令和5年4月1日時点) **341,130円** (平均年齢41.1歳)

種別	初任給	期末・勤勉手当	その他手当
高校卒	166,600円	年間 4.5月分 6月・12月に 各2.25月分支給	・通勤手当 ・住居手当 ・扶養手当 ・時間外勤務手当等
短大卒	179,100円		
大学卒	196,200円		

注1) 期末・勤勉手当については、初年度は在職期間に応じて割り落として支給されます。

注2) 上位の学歴(修士、博士)又は一定の職歴等を有する方は、上記金額にその経歴に応じて所定の金額が加算されます。

勤務形態

勤務形態	月曜日～金曜日の週5日勤務	休日	土曜日・日曜日・祝日
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分(休憩1時間) ※一般的な勤務形態であり、業務内容によって変わります。		
年次有給休暇	年20日 未使用日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます。 入庁後すぐ取得が可能であり、時間単位での取得も可能です。		
各種休暇	夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、子の養育休暇、不妊治療休暇等の特別休暇 介護休暇、育児休業等の制度もあります。		

長門市職員	年休取得日数	一人当たり年平均	12.4日 (令和4年)
	時間外勤務時間	一人当たり月平均	10.0時間 (令和4年)

観光情報 長門市観光情報サイト「ななび」
<https://nanavi.jp/>



移住・定住情報 長門市移住定住サイト
<https://www.nagatoteiju.com/>



うみと、
やまと、
ひとと、
ながと。



長門市役所職員採用

お問い合わせ

長門市役所 企画総務部総務課人事班

☎ 0837-23-1114(直通) / メール jinji@city.nagato.lg.jp

